西多摩医師会報

第92号 昭和55年5月6月合併号

飛　翔（多摩橋附近にて）　秋川市　　近　藤　友　好

目　次

時論
新しく西多摩医師会を運営するに当って
……会長　瀬戸岡　進…2
時報
西多摩医師会定期総会開かる……4
東母西多摩支部総会報告記……6
総会印象記……川崎健一郎…7
文芸・随筆
写真…「遊び」他……近藤　友好…8
短歌…雑詠三題他……小泉　新策…9
赤ちゃんの日記帳から……正木　忠明…10
我慢できない……堤　次雄…11
学術
ウイルス性肝炎最近の話題……志方　俊夫…12
老人病の電解質と輸液……加藤　暎一…14
感想
第12回金曜会感想……山口　岱三…15
理事会報告……16
事業部だより
保険部……21
味覚
手打うどん釜福……道又　正達…22
医師会日誌……22
新入会員紹介
自己紹介……酒井三千生…24
同好会だより
ゴルフ……25
談話室
新委員の記……鈴木　修…26
あとがき……27

時　論

瀬戸岡　進

矢つぎ早やに5月16日には内閣不信任案の可決という27年ぶりの異常事態と、6月22日衆参同日投票というトップニュースが報じられました。一方、この衆参同日選挙をひかえて去る3月29日の西多摩医師会定時総会におきまして、小生を会長に御推挙下され、責任の重くかつ大なることをあらためて痛感いたしておる次第です。もとより浅学非才でございます故よろしくお願い申し上げます。　5月初旬の新聞には国会提出まで4回も手を加えられた健保法改正案の不成立と継続審議の予測が報じられ、日医．都医．地区医師会の緊密なる一枚岩の体制確立の急務が訴えられております。加うるに医師会をとりまく四囲の情勢は一段ときびしさをましている昨今でございます。

西多摩医師会が同好医師会という名称で会員8名で発足した明治26年1月から、明治45年4月西多摩郡医師会と名称をかえ、昭和18年1月には更に東京都医師会西多摩支部となり、昭和22年11月初めて社団法人西多摩医師会となって現在にいたっており、会員数（A．B会員とも）230名を数えるようになりましたがその間、幾多の難関をのりこえ、歴代の全会員の諸先生の御努力と役員の候奉仕のたまものにより今日の西多摩医師会はきづかれたわけでありまして、この点深く感銘し感謝申し上げる次第であります。

さて公益法人としての使命を果たさなければならない地区医師会の運営には、とくに目をみはるような施策やウルトラCの方針はなかなか立案することはむづかしく、単年度内の事業計画もおのずから、その方向はきまっていると思いますが、現在とくに大切なことは、弐百数拾名になった西多摩医師会員のコミュニケーションを如何にスムーズにするかということでありまして、諸先生の建設的な意見を執行部又は役員がどうとり入れるか、どう対応するかということでありましょう。具体的には例えば、福祉部の中に自由討論部又は放談部というようなものをもうけ西多摩全域からの任意で自由な集りをもち、その方々の中から自主的に世話人を決めていただき医師会館で会合をもちながら、それには担当部の理事や他の役員も一会員として出席し、限りある予算と時間で行える建設的意見は出席した役員を通して速やかに執行部に反映するようにしたいものだと思います。役員も含めた会員の諸先生が一堂に会してなごやかな内に意見の交換をするということとこそ、周囲の情勢の一段ときびしさを増す一般社会の困難な局面に立ち向かうことの出来るたのもしい医師会にするためにも大変有意義なことであり、その機会に経験豊富な諸先輩の御意見、御提言にも耳をかたむけ、一方活力ある若々しい新鮮な発想にも傾聴し、役員一部のものでない会員全体の医師会であるという認識をより深めたいと思います。執行部にもたらされた提案は資料図1の要領によって意見の疎通性をわりよくしながら処理されなければならないでしょう。

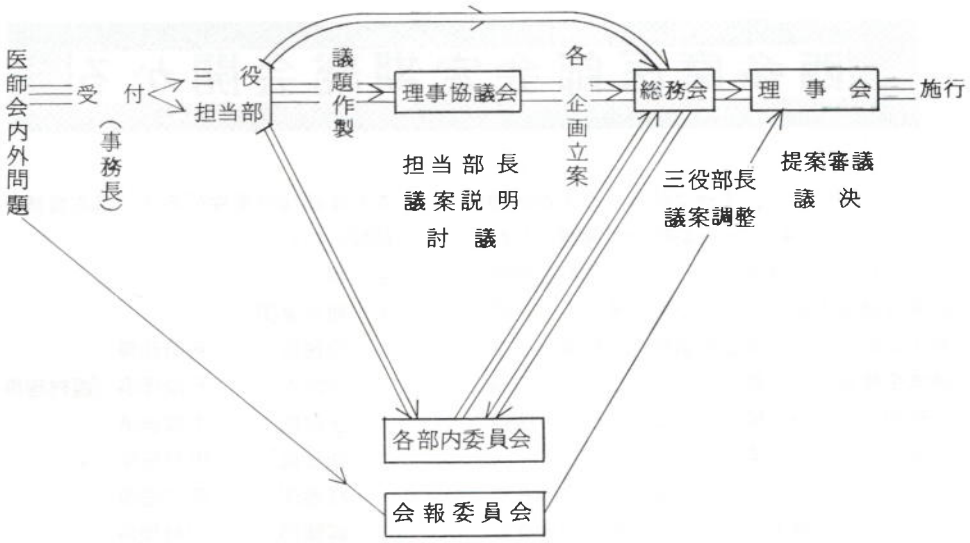
さて私達が医療にたずさわっている西多摩地区は三市五町一村の9つの自治体からなって、都内23区全体とほぼ同じ面積でありまして、一部の市街地をのぞいては農耕地、山村地帯で、東京都でありながら地方色豊かな人々が住んでおり、当然私達はその人たちから信頼される医師であらねばならず、それには医師の倫理を高め地域住民に奉仕する気持をより深く持たなければならないと思います。そのためにも休日、夜間、救急の医療体制の充実は重要でありまして、今日まで奉仕的義務的に従事下さった公、私立病院はじめ諸先生の御協力、御努力にはあらためて感謝申し上げると共に、これを補完する意味からも一本化した救急休日委員会を再発足させ、衆知をあつめて、この体制の万全を期したいと考えております。

又、地域保険医療活動については公衆衛生活動として、予防接種、乳幼児を初めとする各種検診を行い、公私立学校、幼稚園、保育園においてもこの活動の円滑化をはかりたいと思います。

保険部としましては健保連の医療費通知運動、

資料図　1

問題処理　各種経路図



不正請求告発運動など多くの問題が提起されておりますが、地域住民、患者との信頼感をより深めるために、医の倫理をふまえながら医療にたずさわり、内部におきましては健保、国保保険整備委員をブロック毎、地域毎に保険担当の役員、地域の責任者の方にえらんでいただき、その方々を会で御委嘱申し上げ、より充実した保険整備を毎月行うべく心掛けております。

そして地域自治体に密接した災害、救急を主とした問題は市町村長、市町村医療実務担当者との連携を強化し定期的会合を続行する所存です。

学術部の事業として定期講演会、研修会を行い私達の生涯教育の面からも、又医師会が医療、学術集団である立場からも、この活動の強化をはかるべきでありましょう。

福祉部としては前述の会員諸先生の自由発言の場を設けたいと思いますが、この場は必ずしも福祉部の中に組みこまれなければならないということでもありません。もう一つ大切なことは税務でございますが、租税特別措置法の段階的解消によって最近色々の問題が派生してくると思いますが、所得税の申告は個人が自主的に行うことである原則を再認識しながらも、他方節税について税務当局の方々による講習会を精力的に開きたいと思います。

以上色々申し述べましたが、会員相互の意見の疎通性をよりよくするためにも、又関係団体との連携強化のためにも広報部の活動は大切であり、会報発行の重要性は言うまでもありません。

最後に先人が築いてくれた伝統ある我が西多摩医師会に先輩各位の蓄積ある御意見を尊重しながら、一方活力ある若きエネルギーを支えにし、そのシンボルとしての、又研修の場として、又安息の場としての新しい西多摩医師会館の建設の可否を考える時期がそろそろやってきたように思えます。　稿を終るにあたり、諸先生の今後とも宜敷く格段の御指導、御鞭撻を給わりたくお願い申し上げてあいさつにかえます。

時　報

西多摩医師会定期総会開かる

昭和55年3月29日、午後2時より西多摩医師会館において昭和54年度定期総会が開催された。個人の資質によって指導されるという色彩の強かった医師会運営の是非をめぐって、そして又、時代の変化に即応すべく集団討議を経た機関中心主義的運営を模索して、激しく、かつ、まじめな論戦が長時間にわたって展開されたことは、今後の医師会運営に大きな影響を及ぼすであろう。

30才代から80才に近い年令層の多くの会員を包含する我が西多摩医師会が、世代感覚の相違をのりこえて議論をたたかわせたという事実は、活力ある組織体として新しい時代に生きて行ける可能性の証左となったと言えよう。

本総会の特色を一言であらわせば、激動の80年代医師会活動開始の産みの苦しみを全出席者が深く味わい合ったと言う事になろうか。　総会の概要は以下の通りである。

開催日時　昭和55年3月29日午後2時
開催場所　青梅市西分3丁目103番地
　　西多摩医師会館講堂

一、司　会　箱崎理事
一、議長団登壇　丸茂議長
　　栗原副議長
　　近藤副議長
一、資格審査　現在会員総数　230名
　　委任状提出者　80名
　　出席会員数　58名
一、議長確認、本総会の成立発表
一、議長より議事録署名人指名
　（指名　議長一任を総会にて承認）
　　議事録署名人　高木　直二郎
　　島田　芳明
一、物故会員横田寿照先生に対し黙禱
一、会長挨拶（要旨）
　役員、会員諸氏の協力によってこの二年間、大過なく勤めることができ謝意を表明する。
　本日は諸種の案件があり、慎重審議の上で承認願いたい。

一　議　事
①　報告事項
　総務部　箱崎理事
　保険部　箱崎理事（西村理事代理）
　学術部　大塚理事
　福祉部　中林理事
　経理部　江本理事
　広報部　川崎理事
　産業医部　速水理事
　学校医部　福島理事
　公衆衛生部　松原理事
以上、拍手多数をもって承認。

二　審議案件
(1)　第1号議案
　54年度一般会計補正予算案
議案説明　江本理事
質問：近藤（肇）会員より雑収入について
　　山田会員より財産目録について
回答：江本理事、箱崎理事。
関連発言：坂本会員、川崎理事、堀田会員、小泉会員、山田会員、近藤会員。
採決、挙手多数をもって、原案通り可決。
(2)　第2号議案
　55年度事業計画案
各部担当理事より説明
質問：坂本会員より会員の発言の機会を増やすため年2回位の臨時総会開催の要請あり。
回答：箱崎理事、大塚理事
　途中、川崎理事より案件と関係ない質問だから、他の機会にする様にとの発言あり。
　議長より坂本発言は各部の事業計画に関連するものであり、案件に沿ったも

のである旨の説明あり。

採決、挙手多数をもって承認。

(3) 第3号議案

55年度一般会計予算案

議案説明　江本理事

質問：近藤会員　a 手当について

b 婦人科検診手数料について

甲斐会員　c 母性保護協会への補助金交付要請

会費の算定基礎について

回答：江本理事

採決：挙手多数をもって可決承認

(4) 第4号議案

任期満了による本会役員の一般選挙

議長より全役員について定員きっちりの候補者があり、定款施行細則57条58条の準用により投票を用いないで、それぞれの立候補者は当選と決定されることになり、特に異議がなければ、その様にしたい旨説明あり。

質問：堀田会員　理事の立候補者数及び届出に関する疑義（理事候補は13名か14名か）

回答：箱崎理事

関連質疑応答：坂本、川崎、山田、甲斐、百瀬、清水、松原、平林、米山、小泉、近藤（肇）

結論：13名分の立候補届けについては問題ないという事で、採決承認決定。

残る1名分についての疑惑は、議長諮問委員会にて調査の後、発表することになった。

質問：中村会員　医師会の税務指導に対する疑問。

清水会員

回答：高水会長

百瀬理事

結論：納税は各自の責任であることを確認。

――― 以　上 ―――

補記　総会における論議の詳細については議事録署名後、次号又は増刊号にておしらせ致します。

なお、本総会後、TMMA西多摩支部の総会も開催されました。

昭和54年度定時総会報告まとめ

去る3月29日開催致しました本会の頭記総会の議決事項を報告申上げます。

議決事項

1. 報　告

総務および各部事業報告

報告通り承認

2. 議　事

第1号議案　昭和54年度一般会計補正予算案につき承認を求める件

第2号議案　昭和55年度事業計画案につき承認を求める件

第3号議案　昭和55年度一般会計予算案につき承認を求める件

以上3議案提出原案通り承任

第4号議案　任期満了による役員の一般選挙

当選	会　長理事（定員1名）	瀬戸岡　進
〃	副会長理事（定員2名）	福島　大寿
〃	〃　〃	米山　秀雄
		（以下五十音順）
〃	理　事（互選）（定員3名）	桂木　真
〃	〃　（〃）	中村　武
〃	〃　（〃）	百瀬　政雄
〃	〃　（定員13名）	今川　武
〃	〃	江本　虎雄
〃	〃	大塚　渉
〃	〃	木野村幸彦
〃	〃	菅井　義久
〃	〃	中林　敬一
〃	〃	西村　邦康
〃	〃	波田野洋夫
〃	〃	東　吉男
〃	〃	堀田　洋夫
〃	〃	松原　貞一
〃	〃	矢島　民夫
〃	〃	吉野　住雄
〃	監　事（定員3名）	近藤　肇
〃	〃	近藤　友好
〃	〃	山田　正哉
〃	医道審議会委員（定員9名）	井上　富美
〃	〃	池田　聖
〃	〃	甲斐武比吉
〃	〃	小林　康光

当選　医道審議会委員　　笹本義太郎
〃　　〃　　鈴木　修
〃　　〃　　堤　次雄
〃　　〃　　葉山　侃
〃　　〃　　平林　信隆
〃　議　長　（定員1名）　丸茂三千穂
〃　副議長　（定員2名）　進藤　利雄
当選　副議長　　矢ケ崎久雄

以上立候補者定数に付、無投票当選決定。

予定議案外動議あり

選挙に関して質問あり、調査のための総会内議長諮問委員会を作ることに決定。

（記　編集部）

東母西多摩支部総会報告記

戦後の世相荒廃した時代において食糧難、生活苦の中でベビーブームが出現し、非合法の人工妊娠中絶が急増、そのため医療事故が多発すると云う現象が現われた。かゝる理由のもとに母体保護又は社会的現状より見て昭和23年6月に議員立法にて優性保護法が設けられ指定医制度が採り入れられ都道府県知事に指定権が与えられた。その結果、各都道府県毎に優性保護法指定医を会員とする優性保護医師会が設立され、現在吾々の属する東京母性保護医協会（東母）が昭和23年12月に結成された訳です。当西多摩支部は定時総会、夏季特別研修会、講演会等を実施し、こゝ数年来は医療事故問題と人工妊娠中絶についての詳細な研修指導講習会を行っている次第です。

扨本年は去る5月24日㈭西多摩医師会館において定時総会を実施、その概略を報告します。

1. 役員改選

東母西多摩支部長 ― 近藤　肇
東母理事 ― 上田登代一
東母評議員 ― 池田　聖
矢ケ崎久雄
秋山　静夫
支部庶務 ― 矢ケ崎久雄
支部会計 ― 三枝　襄二
学術部連絡員 ― 秋山　静夫
〃　委員 ― 鈴木　晴夫
岩井　隆
小沢　町江
葉山　侃

2. 産婦人科関係の自由診療料金

昭和53年7月に東母より料金表が配布され以来改正されておりませんが、保険の点数の見直しが噂されている現在いづれ東母より何等かの連絡があると思いますので、それ迄は現行料金で行って下さい。

3. 支部会費について

支部運営について2～3年来大変苦しい所でしたので来年1月から年会費5,000円となっております。

なお西医総会に御出席の方は御承知と存じますが、本会よりの補助金増額を支部長が訴えられ、更に理事会にも請願書を提出していますが執行部の特別な理解をお願いする次第です。

4. その他について

a）厚生省で現在保険点数の改正見直し作業が行われつつあります。産婦人科関係では分娩費、人工妊娠中絶術及び避妊リング等が保険給付になるか？を検討しているらしいです。万一にもかゝる事態になれば医療国営につながる危険もあり、又自由社会における理論に重大な関係を示すものであります。医師会又は各学会において充分な監視が痛感される所です。

b）分娩予定日を超過した場合は過期妊娠となっていますので産婦人科関係の方は御承知下さい。

c）総会通知のなかで「その他」となっているのは最近の医療、新学説、医療過誤、税務問題、中央からの通達事項その他講話等の意味が含まれていますので会員多数の出席を特にお願いします。

参考　東母西多摩支部会員数　23人
〃　〃　〃医療機関数　20人
5月24日総会出席数　14人
東母副会長．日母オギャー献金理事
高島　秀磨先生

総会印象記

日の出町　川崎健一郎

それは突然、全く予想も出来ないような発言から波乱の総会の幕が開いた。その発言とは「財産目録の提出がないから、定款施行細則に違反しており従って予算案の審議は出来ない」という内容のものだった。考えてもご覧なさい。その日提出された予算案は財産目録が無くても何ら審議に支障はないのである。しかも過去何十年もの間、財産目録はいつも決算時の臨時総会に提出されていたのであって、この事に関してこれまでクレームを付けた人は誰もいなかったのである。それだけではない。かかる発言をしたご本人は、これまで永年役員だった人なのだから、今度の定時総会で何故突然そのような発言をしたのか甚だ理解に苦しむのである。しかもそれが一個人の落度であるとしてその個人を責めたという事は、何か魂胆があっての発言ではないのかナ、という印象を受けたのである。

次いで第4号議案「役員選挙」となったのであるが、立候補者の数が全て定数どおりである以上、すんなり無投票当選となり、先ずは目出度く閉会となるものと思っていたところ、ドッコイそうは問屋が卸さなかったのだから全くおどろいた次第である。総会を混乱に導いた最初の発言者Aの発言内容は、ざっと次のようなものだった。「予想されていた理事の立候補予定者X氏の届出がなされていないのは一体どうした理由なのか。不明朗なものを感じる。届出締切りまでの間にX氏に対して何らかの圧力が掛ったのではないのか。届出締切りまでの間にそのような疑問がある以上、理事選挙は無効である」ざっと以上のような発言だったが、これに対してX氏から届出用紙を預っていたBは「X氏の諒解の下に届出をしなかったのである」という意味の答弁をしたのだが、A及びその他数名の人達がどうしても納得せず、同じ内容の事を繰り返し発言し貴重な時間はドンドン経っていくばかりである。私はたまりかねて発言した。「当のX氏から直接その間の事情をお聴きすれば、全ては判然とするわけだから、そうするのが一番良い方法と思うが、あいにく当のX氏がこの総会の会場に居られないのだから、議長或いは議長団が後日X氏に会って事情聴取をして、真実をありのまま全会員に知らせるということにしたらどうか。そしてもしも許しがたい新事実でもあった際には、それはそれで又考えてはどうか。とにかくこの際はこの選挙を有効とし議事進行を図って欲しい」　要約すればそんな内容のことを言ったのだが、A及び数名の人達はなおも「届出の時点で不明朗なこと或いは圧力があったと思われる以上理事選挙は無効である」として執拗に喰い下がるのであった。結局「事の真偽を調査する委員会を作り後日真実を会員に知らせる」ということでやっとこの問題にけりが付いたのだが、もしも調査の結果、不明朗或いは圧力などという事実が一切なかった場合には、そのような発言をした人達は一体どのような責任をとる積りでいるのだろうか。私はその人達の責任の取り方に重大な関心を抱いている者の一人である。

さて、やっと一段落ヤレヤレとひと息ついたところ今度は税金にからむ問題で又もやBが攻撃の矢面に立たされたのである。私はうんざりしてしまった。色めがねで他人(ひと)を見、偏見を持った一方的な情報を鵜呑にし、それを基にして自分の意見を作り上げ、その後他の人からの正しい情報を耳にしても、初めに持った自分の考えを容易に変えない人、他人(ひと)の善意をすなおに汲めない、汲もうとしない人、まとめ役、なだめ役をするのがふさわしいと思われる長老の方が逆に混乱を一層かき立てるような発言をしたり、私はもう西多摩医師会の会員であることがいやになってしまった。西多摩医師会の会員であることが何だか恥かしいかうな気がしてならなくなった。

今度の定時総会は、一言で言えば個人攻撃に終始したという印象を強く受けたのは私だけなのだろうか。

会員の皆さん。良識と温かい人間性と勇気ある行動力とを、どうか取り戻して下さい。

西多摩医師会の会員であることが誇らしく感じられるそんな医師会を皆さん力を合わせて作り上げましょう。

私は、真実を見極める澄んだ瞳と
　　真実を聴き分ける確かな耳と
　　真実を語る信頼出来る口と　を
持ち続けたいと願っている。

文芸・随筆

「遊び」

秋川市　近藤友好

1月の寒い朝　川を見に行った
朝日が昇ろうとしている
川面のきらめき　かすかな風
川面はきらめき一つになる
きらめき　をさえぎる影
子供が二人岸辺で遊んでいる
石を投げたり　水に手を入れたり
川面をみつめたりして
声を上げるでもなく　黙々と遊んでいる。

熊川　千手院（せんじゅいん）　350年の歴史と由緒のある禅宗のお寺です

福生市　鹿野純一

雑詠三題

小泉新策

（故森田司先生を偲ぶ）

野に立てばあかき春陽は燃えはてて
　火玉のごとく山の辺に消ゆ

とこしへに君逝りませばうたかたの
　世にしあれども悼ましきかな

（医師会改選に思う）

盟友の望みかなへり春衣
　更へてすがしや永く記さむ

かくなれば行くて嶮しくあらなんも
　堅く結びてはげまし行かん

（春を愛でる）

黄梅と富士桜咲く我が門に
　立ちて春陽仰ぐ幾朝

河鹿鳴く岸の堤の太桜
　風もなくして花吹雪舞う

愛鳥週間

小泉新策

白藤の垂穂の花のその下に
　餌箱しつらひ集うを楽しむ

野の鳥も人の顔覚ゆ我を見て
　逃ぐるなくして餌求め来ぬ

山鳩は餌を求めて治療室の
　窓の硝子戸啄き示せり

長作観音詣で

朝焼けの赤く染む富士眺む刹那
　たくまぬ自然の壮麗さ知る

小菅路は狭き峡間のせまりいて
　青葉若葉に山吹映ゆる

長作の天平秘仏観音菩薩
　親しく拝む小菅路の春

赤ちゃんの日記帳から

阿伎留病院小児科　　正　木　忠　明

赤ちゃんが日記を書くなんて？とお考えでしょうが、僕達も色々考えたり、欲したりするものなのです。さあ、皆さんにこれから僕の日記の一部を見ていただきます。

— S.53.11.5 —

午前6時、某病院の産科にて、目出度く産声を上げる。僕の名前は雄二、沢田家の次男として生まれました。最初に僕の耳に入った言葉は、「元気な男のお子さんですよ」と云う助産婦さんの声でした。そして直ぐに、ママとの対面となりましたが、パパとは一時間后、新生児室のガラス越しでした。その時のパパの顔は微笑で一杯でした。ところで、僕の家族を御紹介致しましょう。ママは25才、決して美人ではありませんが、心の優しい人です。パパも25才で某会社のエリート社員？だそうです。ママとパパは大学の同級生で恋愛結婚だったそうです。兄は3才、当家の長男で、なかなかの腕白です。いよいよ新しい生活の始まりです。

— S.53.12.5 —

今日は朝から天気が良く、ママは洗濯で大変忙しそうに動きまわっています。兄がつまらなそうな顔をしながら近づいて来ました。そして突然、僕の体を蹴飛ばして、外へ出て行きました。きっと彼にとっては、僕の存在が気に入らないのでしょう。お願いです、ママ!!二人とも平等に愛して下さいね。

— S.54.2.5 —

外は小雪がちらつき、とても寒い日でした。今日やっと"寝返り"に成功しました。それを見ていたママは、うれしそうに僕を膝の上へ乗せてくれました。もう頭がぐらつかなくなったので、とても快適です。そしてママは、僕の手にピンク色のガラガラを、握らせてくれました。振ると良い音色がしました。御料理上手のママ、そろそろ離乳食を始めて下さい。もうミルクだけでは飽足らないのです。

— S.54.5.5 —

今日は子供の日です。庭ではこいのぼりが春風の中ではためいています。僕のかたわらで兄が柏餅をおいしそうに食べています。「僕も食べたいな」、パパは会社が休みなので、僕をあやしながらお酒を飲んでいましたが、そのうち一杯機嫌で歌い始めました。とても上手なので、聞きいっているうちに寝てしまいました。夜、僕は高熱が出ましたが、それ程不快感はありませんでした。しかし、ママは大変心配して、ホームドクターに電話をし、体を冷やすように指示を受けました。アメリカでは解熱手段として、水風呂につけることもあるそうです。翌日、ママに抱かれて病院へ行きました。すでに病院では、僕の仲間が何人か、ママの膝の上で、さえない顔つきで待っていました。中には、どうみても病気にみえない子供もいるようです。先生のお話では、最近"母原病"というのが、多くなっているそうです。僕達にしてみれば、全く迷惑なことです。世の中のママさん達、もっとしっかりして下さいね。

結局、僕の病気は突発性発疹症で、2～3日熱が続いた後、全身に発疹が出ることにより、無事終了しました。「ママ、御苦労様でした」

— S.54.8.5 —

意味のある「ダーダ」、「ママ」などが言えるようになりました。「パパ、ごめんなさい」だってまだ「パパ」とは云えないからです。いよいよ今日は海水浴へ行く日です。兄は朝早くからうれしくて、部屋中をはしゃぎまわっています。

初めて見る海、荒々しい感じを受けますが、反面ママに似た優しさを秘めています。ドイツ語では"die see"と書き、女性名詞だそうです。何んとなく理解できるような気がします。ママに両手を引いてもらい、波打ちぎわまで自分で歩いて行きました。遠くで、パパと兄が泳いでいるのが見えます。また、目に入る全てが、興味を引くものばかりです。でも日ざしが強過ぎるので、しばらくしたら日陰へ戻りましょうね。今日は素晴しい体験をし、とても楽しかったです。

— S.54.11.5 —

満一才の誕生日です。やっとパパと言えるようになり、また、一人歩きもできます。

いよいよ、今日から離乳完了期で、ほぼ家族と

同じものが食べられます。ママはとても料理が上手なので、毎日が楽しみです。でも、まだスプーンもつかえず、コップから水を飲むのも下手です。ますますママは忙がしくなりそうです。「頑張って下さい」

今、僕は幸福一杯です。「ママ、パパありがとう」

我慢できない

堤　次雄

何年か前、私はバス旅行をしたことがあります。私はそのバスの中で喉の渇きのままに好きなビールを飲みました。『楽あれば苦あり』と申すではありませんか。やはり、やって来ましたね。結果は尿意の襲来でありました。

次の停車地までは小1時間はかかるのであります。

バスの揺れと共に私はパンパンに張った膀胱がはじけそうな恐怖に襲われ、私は腰を屈め尻を浮かして、ただ振動を防ぎ冷汗を出しながら尿意の苦痛に堪えに堪えたのでありました。

あれ以来、私はバスの中で人様に如何に薦められても飲まないことにしております。

排泄の停止、或は我慢は人間の苦痛の最大級の一つと思います。長時間の我慢はできないんであります。

食べる、眠るの欲求の我慢は可成り長時間できます。　性の欲求なんて何ですか、あんなもの問題にもなりません。

私が小学1年生の時、国語の時間のことでありました。私の直ぐ後の席に居た上杉君は突然、椅子の上に立ち上り、彼の可愛いチンボコを出して私の首すじから背中に向けて放尿したのであります。私は驚いて泣きましたが、彼も泣きだしました。　彼は我慢できなかったのであります。

ただ、私は上杉君が腰かけたまま、どうしてしてくれなかったのかと悔んだものでした。

1年生時代で覚えている名前は、私の濡れた背中を優しく拭いてくれた辻先生と、この蟬のような上杉君だけであります。

私は開業医となって、排泄したくても出来ずに苦しむ人を何人か楽にしてあげて、感謝されました。

この方達は、どういうわけだか大低、深夜か早朝に訪れて来られるのでありますが、私は排泄できない事の苦痛を知っていますから、この方達には非常に理解があり親切であります。

前立腺肥大の与作爺さんは常連の一人でした。彼の場合は深夜の2時頃と決まっていました。青い顔をして前かがみになっている爺さんを玄関にみたものでありました。

「いつも済みませんね。悪いから我慢すべえと思っても出来ねえんだよ」と前をはたげるのであります。

後日、爺さんは晴れやかな顔をして時にダンボール箱一杯に詰めた卵を持ってお礼に来たものであります。この与作爺さんも4、5年前に他界されました。

卵を見ると時に与作爺さんのことが想い出されるのであります。

おかね婆さんの息子が、あたふたと駆け込んで来て「オフクロが便所で倒れた。脳の血管が切れたらしい直ぐ来て下さい」と迎えに来たのは或る日曜日の夕方ごろでした。

私が行った時、婆さんは布団に寝かされていましたが顔は青く冷汗を出して呼吸は早く意識は朦朧としていました。　下腹部が張っていましたので浣腸すべく肛門を見ますと固い糞の頭が見えました。　指でほじり出し浣腸をかけたら大量の排便がありました。　おかね婆さんの顔は見るみるよくなりました。

「あぁ、楽になっただよ。よかったよぉ」

と喋べりだしたのであります。

おかね婆さんは糞づまりの餘りの苦しさに失神された模様であります。

脳卒中を浣腸で癒した私は、彼女にとっては名医でありました。心からの感謝が感じ取れたものでありました。

おかね婆さんは糞づまりと縁があられるのか、3年前に腸閉塞で天国に召されたと聞きました。

大体、大、小の「つまる」人は老人に多いのでありますが、数年前に1回だけ若い人に目ぐり会ったことがあります。

早朝5時頃、若い夫婦が訪れて来ました。彼女は22才、山口百恵の顔を両サイドから少し圧縮したような顔でしたが、まあ美人の部類に入れておきましょう。

彼女は腰を屈め、手を下腹に当てていました。

「あのう、おしっこが出ないんです」

蚊の鳴くような声で、哀顔調に云いました。

「準備に10分くらいは、かかりますよ」

と私は同情しながら申しましたが、彼女は私の何の指図も待たずに、さっさと診察台の上に横になり、す早くパンティを脱ぎ、白くふくよかな腰から下の部分を惜しげもなく、お広げになったのであります。　私は驚いて

「まだ、あんた早いですよ、10分はかかりますよ」

と私は申しました。

「ええ」

と彼女は小さな声で、それは承知している。と云うように、頷づきました。

私はこの女性は脱ぐのになれとるのかいな．或は尿閉の経験があるのかしら、と思いまして

「あんたは、以前にもこんなに　つまった事があるのですか」

と聞きました。　彼女は消え入る様な声で

「初めてなんです」

と唇を少し咬みながら答えたのでした。

露にしている白い体が、堅くそして小刻みにふるえているのであります。

私は人が苦しんでいる時、いろいろ尋ねるのはよくなかろうと察して、以後、質問は止めました。彼女にしてみればであります。消毒できてから、パンティを脱ぐ、たったの数10秒の時間が惜しかったのに違いありません。

導尿しますと、殆んど「しびん」に溢れんばかりの尿が取れました。

彼女の顔は見る見るほのかな桜色に変わり、頬筋の緊張もゆるみ、安堵とその快感が私に、ひしひしと伝わってくるのがわかるのであります。

「どう、楽になったでしょう」

と云う私の声も高ぶり、

「ハイ。お陰様で楽になりました」

と彼女の上づった返事に、私は大いに満足したものであります。

私は彼女の下腹に手を当て最後の尿を押し出してカテーテルを抜きました。

その後の彼女は別人の如くでありました。その動作の早いこと、（パンティをはく）私はびっくりしました。楽になった彼女には反射的に羞恥心が甦えったのでありましょう。

彼女はなぜ、排尿出来なくなったのであろうか。と私は考えたのであります。

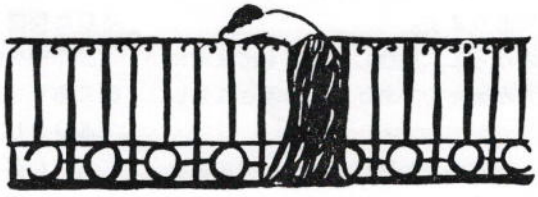
推測であり、間違っているかもしれません。

かの夫のmanipulation　が餘りにも丁ねい過ぎて尿道口が浮腫状となって口を塞いだのではあるまいかと。

礼を云って帰る夫に、私は

「手荒らには、しなさんな。ソフトにだよ」

と云おうと思いましたが、気が弱そうな優男の顔を見ると、なぜだか、云いそびれてしまいました。



学　術

ウイルス性肝炎・最近の話題

日本大学医学部病理
長崎大学熱帯医学研究所防疫　　志　方　俊　夫

はじめに

カタル性黄疸と呼ばれていた疾患がウイルスによるものだと疫学的、臨床的に推定されてから、肝炎ウイルスの発見迄、実に長い期間を経過した。Blumberg のオーストラリヤ抗原の発見を契機にしてB型肝炎ウイルスが、又1973年にはA型肝炎ウイルスが見出された。1980年になって今一つ或いは二つの肝炎ウイルス、現在かりに非A非B型肝炎ウイルスが発見されようとしている。そして現在それに対する対策が検討されている。

A型肝炎

日本に於けるA型肝炎の現状はほぼ解明された。A型肝炎ウイルスはRNAウイルスで肝臓で増生したウイルスは胆汁から腸管へ排泄され、fec-al-oral の感染をおこす。従って腸チブスや赤痢などと同様に一般的な衛生環境が改善されると減少する。これは日本人の年令別のA型肝炎ウイルスに対する抗体、HA抗体を見れば明らかである。25才以下の日本人でHA抗体を持っているのは2.5％にに過ぎない。これに対して30才以上の人々では急速に抗体保有率が高くなり、40～50才で80～90％に達する。この事は戦前、戦中、戦後の混乱期には衛生環境が悪く、ほとんどの人がA型肝炎に感染して抗体を持った事を意味している。しかし最近25年間は少くともA型肝炎の大流行はない。この事は東南アジアなどでのHA抗体の年令別保有率と比較すると明らかである。これらの国々では生後5才位迄にほとんどの人がA型肝炎ウイルスに感染し、ほぼ90％の人が抗体を持つのである。然し現在日本にもA型肝炎はある。ここ4～5年の間に10数件の小流行があったが、それは糞便を充分に処理出来ない精薄施設、保育園におこっている。井戸水が汚染されて小学校に500人の患者が出た例もあった。又散発性の急性肝炎の約20％以下がA型肝炎と考えられている。然しその約半数は東南アジア、アフリカなどからの旅行の帰国者である。然し日本の現在の衛生環境ではこれらの人々から二次感染をおこすことは稀である。A型肝炎の確定診断は二点の血清でHA抗体の急上昇を認めるか、或いは一点でIgM抗体を証明することによる。糞便へのウイルスの排泄は肝炎発症時にはほとんどなくなっておりウイルスの検出は困難である。A型肝炎は激症肝炎はおこすが、慢性化することはないと考えられる。小児のA型肝炎は比較的軽いが、大人の肝炎は重くなり得るので、抗体を持たない若い日本人が東南アジア、アフリカ等で感染することは問題である。現在市販のγグロブリンは充分なHA抗体を持っており、短期間の旅行ならこれで予防可能であるが、将来A型肝炎ワクチンの開発が必要である。

B型肝炎

B型肝炎ウイルスはDNAウイルスで二重構造を示し、中心部と被膜と抗原性が異なり、それぞれHBc抗原（B型肝炎コア抗原）、HBs抗原（B型肝炎表在性抗原）と呼ばれている。このほかHBe抗原が知られている。このウイルスは完全なウイルス粒子（Dane粒子）のほかにHBs抗原のみからなる多数の小型粒子を血中に放出する。このウイルスは昔血清肝炎と呼ばれていた様に血液その他分泌液を介して伝播する。輸血などにより昔は感染した。性交などのintimate contact により感染することが多い。アメリカではホモの感染率が極めて高いといわれている。B型肝炎はA型肝炎と異なりウイルスの長期間のcarrier が存在する。日本人全体の2～3％、東南アジア、アフリカでは10～20％の住民がウイルス保持者である。又A型肝炎ウイルスが急性肝炎しかおこさないのに対して、慢性肝炎、肝炎性肝硬変、肝細胞病といろいろな病気を引きおこす。重要な感染経路の一つとしてcarrierの母親から胎児、新生児にウイルスが伝播される垂直感染があるが、この様な場合子供には急性肝炎をおこすことなく多くはcarrierになる。3才以下の幼児が感染した場合も同様である。これらのcarrierの一部は20才代で慢性肝炎の症状がはっきりし、30才から40才で肝硬変、更に肝細胞癌へと進展する。これに対して大人がB型肝炎

ウイルスに感染すると多くは急性肝炎を発症するが、治癒すると完全にウイルスをクリヤーし、むしろ慢性肝炎に移行することは少いと考えられている。

この様ないろいろな病型をとることは、このウイルス自体は細胞傷害性はなくHBs抗原に対する免疫反応が肝炎を引きおこす為、免疫反応のおこり方如何によっていろいろな病型をとると考えられている。

HBe抗原の性状、その役割りは未だよくわかっていないが、感染の初期、血中でHBs抗原価が高い時はHBe抗原が証明される。やがてHBe抗原が消失し、HBe抗体が証明されるが、この様な時期にはHBs抗原の抗原価は低くなり、血中のDane粒子、DNAポリメラーゼの活性も低下する。従って同じ様にB型肝炎ウイルスを持っている人の血清でもHBe　抗原があるかHBe　抗体があるかによってその感染性がいちじるしく異る。両方の血清を10倍、100倍…… と希釈し、それぞれ別のチンパンジーに接種してその感染性をしらべるとHBc抗原陽性血清は 10^{-8} 迄感染性があるのに対して、HBe抗体陽性血清は 10^{-2} 迄希釈すると感染性がなくなってしまう。この事はHBe　抗原陽性のcarrierの母親から生まれた子供には高率にウイルスが伝播されるのに、HBe抗体陽性のcarrier　の母親から生まれた子供にはほとんどウイルスが伝播されないことからもあきらかである。

B型肝炎ウイルスの持続感染によって慢性肝炎から肝硬変へ進展するが、この様な肝炎性の肝硬変の約50％に肝細胞癌が発生する。これはアルコール性肝硬変に肝細胞癌が発生することの少いりといちゞるしい対比を示している。欧米の肝硬変かアルコール性のものが多く、肝細胞癌の合併が少いのに対して、アジア，アフリカの肝硬変は肝炎性のものが多く、肝細胞癌の合併率が極めて高い。又肝細胞癌の症例で日本ではその40～60％に、台湾やアフリカではその80％にHBs抗原が証明されることからもB型肝炎ウイルスと肝細胞癌の密接な関係は極めて明瞭である。

B型肝炎の予防には普通のγ-グロブリンは無効であるが、HBs抗体価の高いγ-グロブリンで予防可能であり、これは医療従事者のアクシデントにさいして使用される。現在B型肝炎ワクチンの開発がほゞ完了したが、このワクチンはHBe　抗体陽性のearrieの血清から、HBs　抗原の小型粒子を精製して材料とする。ごくわずかに混入したDane　粒子をホルマリンで不活化してワクチンとする。チンパンジー約60頭を使用して安全性と有効性のチェックを行った。アジュバントを添加したワクチン20μgを1ケ月の間隔で2回皮下に接種するとすべてのチンパンジーに充分なHBs　抗体の上昇がみられ1～2年にわたって著明な抗体価の低下はなく抗体が持続している。それらのチンパンジーに生きたB型肝炎ウイルスの接種実験を行っているが1000 C_1D_{50} （50％チンパンジー感染量の1000倍）程度のウイルスの接種では勿論肝炎はおこらないが 10^{10}～10^{11} C_1D_{50} という大量のウイルスを接種 ― 実際はHBe　抗原陽性のearrier　の血液の輸血 ― を行ってその直後HBs抗体が完全に消失し、2～3日HBs　抗原が血中に証明されてもB型肝炎は発症しなかった。このワクチンは人間に対しても充分に有効と思われ、まず医療従事者、ついでearrerの同居者へと適用範囲を広げていくつもりである。垂直感染の予防には生後24時間以内にHBs　抗体価の高いγ-グロブリンを接種し、これを2～3回繰返した後にワクチンを接種するという方法がとられる事になるであろう。これにより最終的には肝細胞癌迄予防出来ることになり、ワクチンによる癌の予防はこのワクチンが一番はじめのものになるであろう。

非A非B型肝炎

昔輸血により多発したB型肝炎が供血をHBs抗原でスクリーニングする事により、著るしく減少したが、現在なお輸血例の約10％に輸血後肝炎が発生している。そのうち1％位はチェックもれのB型肝炎であるが残りの9％はB型とは別の肝炎ウイルスによるものと考えられる。このウイルスは更に必ずしも単一でなく二種類以上のウイルスがあると推定されている。B型肝炎と同様にcarrierがあり、又この肝炎は慢性化する。肝硬変の何％がこのウイルスによるのか、又このウイルスが肝細胞癌と関係あるのかどうかという事は未だ不明である。

これに関連した抗原抗体系、又このウイルスに感染したチンパンジーの肝細胞中の特殊な構造など次第に明らかにされつゝある。

老人病の電解質と輸液

慶大内科助教授　加藤暎一

われわれ臨床家は、病的な代謝と病的な機能を取扱うものである。しかし代謝と機能は切り離すことはできない。しかも試験管内で行うとすれば大変なエネルギーと時間を要することが、体内ではスムースに行なわれるのは、体液中の恒常性homeostasisが保たれているからである。体液代謝・機能の3本の足台の上に健康という花が咲くのである。このhomeostasisは決して一方向の強さで決るものではなく、必ず反対方向からの複数の因子があるから保たれるのである。

日本人の体重平均を60 kgとすれば36 ℓが水であるが、そのうち24ℓが細胞内、12ℓが細胞外で、そのうち9ℓは組織間であり、検査の対象となる血液は、残りの3ℓということになる。高令者になると、脂肪が多くなるため、水分が少なくなり、子供に近くなる。

細胞内液といわれる部分は、Kイオンが主で、Mgイオンが多く、Naイオンは少ない。ほとんどの病気では、大体Naがたまり、Kがにげる傾向があり、特に老人ではこれが目立つ。Kがにげた場合、血清K値に異常がなくても、細胞内のKの貯留がなくなり、その結果心筋の収縮が障害され、心電図上、P波が平担化し、STが低下、新しいU波が出現したり、QTが延長したりする。また老人において、Kが低下した状態でヂギタリスを投与すると、倍の速度で心筋にたまり、効いたと思った時には副作用が出現する。

日本人の場合は、Na過剰摂取の傾向にあり、またK摂取は不足する傾向がある。Naをほとんど摂取しないで、Kを充分摂取している原地人は、血圧が160前後でも何の障害もなく、とびまわっている。

老人を治療する場合、正常値をめざした治療は害があることが多い。

高血圧の治療としては、米国では、食塩制限、利尿降圧剤、交感神経抑制剤を用い、これに末梢血管拡張剤を加えて、三者あるいは四者併用を行なうことが望ましいとされている。

日本人にKが欠乏し易い原因として、米にKが少ないこと、果汁や果実の摂り方が少いこと、またKを減らすNaの摂り方が多いこと、さらに消化器疾患が多いから嘔吐や下痢により、Kをにがすことが多いからであろう。

輸液にあたっては、水と電解質のバランスがとれていれば、カロリーがマイナスでもかまわない。高令になればなるほど、注意しなければならないことは、正常な状態でもヘマトクリフト値は低下してくるし、血液のPHはアチドーシスの傾向となり、炭酸ガスはたまってくるし、重曹はさがってきて、いわゆる呼吸性にも、代謝性にも、アチドーシスの傾向を示し、またこれを戻す力も弱いのである。したがって老人の治療には、きめ細かな配慮が必要となる。

（記　清水　章三郎）

感　想

第12回金曜会感想

山口岱三

今回のテーマは「上手な保険請求の仕方」で、さぞや出席者多数と思いきや15名たらず。西多摩医師会の諸先生方は、減点などされた事のない、レセプト書きの名手ばかりなのでしょうか。それとも事務員に任せっきりで、何ら気になさっていられないのでしょうか。

今回は懇談の内容を記録する必要なし。感想文のみと云う出席者全員の意見と、小生に書けと云う事で、以下感じたまゝに書いてみました。まず欠席者からのお便りが披露され、「正しく請求す

る事こそ上手な請求の仕方であり、同時に下手な請求の仕方でもある」と云う御意見、まさにこれ以上の言葉はないでしょう。

懇談に先がけて、保険診療当初の、抗生物質で代表される制限診療時代の、歴史的なお話があり噂には聞いていた昔の制限診療を経験された先輩諸先生方の、実際のお話をお伺いして、その非学問的な審査態度、患者さんを前にした最前線にある医師の苦労を無視した審査態度に、猛烈な腹立たしさを感じたのは一人小生だけではなかったでしょう。視線を転じて現在はどうか。大学病院と一般診療所とを比較して、それぞれの能力範囲に於ては、同一診療が認められつゝあり、かつての診療制限のワクがゆるめられつゝある過渡期である、と諸先輩は述べられたが、はたしてそうであろうか、これには多くの意見が出された。製薬会社にとって薬効再評価申請には多額の金がかゝるしたがって高価な薬のみ申請する傾向があり、安価な薬は消えてゆく、その結果困るのは患者さん達である。この事に気づいている人は少ないであろう。また再評価の都度薬の効用範囲が製薬会社から申請された疾患のみに限定されてゆく。保険審査員はこれを基準に審査をするから、医師はその範囲を越えて投薬することはできない。そこには医師の学識も経験もその存在は認められない。「日進月歩の医学の進歩！」、はて、「日進月歩の医療の後退！」ではないか。ある先生は審査員に呼び出された査問の席上、査定に対して保険診療の書物を提示してこれに基づいた診療行為である事を主張されたところ、診査員氏曰く「医学は日進月歩、そんな本を読んでたってだめだ！」、ところが別のある先生は同じ書物を提示されて「この本を読め！」とどなられたとの事。これら審査員の態度、己を何か感違いしているのではないだろうか。よくある減点理由に「画一的診療はおやめ下さい」と云うのがある。専門科診療を行なっている医師のもとへは同じ様な主訴の患者さんが集まるのは当然であり、この先生が初診時に的をしぼって最小限の診療を行なった場合、画一的診療になることは云う迄もない。従って極言すればこの減点理由は「診療はおやめ下さい」となる。

種々の御意見が出されましたが、保険請求知識の乏しい小生が期待していた様な「技術的な話」はなく、今回の談話を感じたままに要約すれば、現在は「医学知識の乏しい審査員の為に解りやすくレセプトを書く事」であり、将来に対しては「審査員の態度を改めさせ、良き審査医を選出する事」であったかと思います。

おわりに、今回の種々の御意見の中で、小生にとって真に驚くべき、かつまた忘れられない御意見が一つありました。それは、「医師会選出の審査員程激しく減点を行ない、彼らが使用する赤エンピツはたちどころに短かくチビッてしまう。これは一介の医師が、審査員と云う地位につくと、何か絶大なる権力を得た様な錯覚に陥るのではないだろうか」と云うことです。

小生が医学を志してから、道をまちがえたと思ったことが二度ありました。一度は解剖学であの膨大な名称を暗記させられた時、いま一度は開業して初めてレセプトを書いた時です。大学山岳部でピッケルでなぐられ靴でけとばされた新人時代、カニ工船の船医で6カ月間オホーツク、ベーリング海に浮いていた頃、またアンデスの6000メーターの高所を酸素マスクもつけずに登った時、これらは苦痛ではあったが今は楽しい思い出であります。しかしレセプト書きは今も苦痛です。これで終ったと思ったらすぐ又次がやって来てあっと云う間に5年が過ぎ去った、そして死ぬ迄続く！。良策は？　レセプト書き屋さんに任せて、減点されても馬耳東風と受け流す。そしたら医師会の先生方からしかられる、これも馬耳東風と受け流す、悪しからず！。

職　務　分　担　表

1980. 4.

担当理事	職務分担及委員会	外部各種関係事業及委員会
総務部	庶務一般 総務会 医療対策委員会 地域医療（適配） 救急・休日医療 医事紛争処理（事故）委員会	四者協議会 三多摩庶務理事連絡会 都医代議員会・医道審議会 地区医師会長協議会 夜間診療実施対策協議会 救急医療対策委員会 地域医療推進委員会 臨床検査センター委員会 医師急増に対する医師会の在り方委員会 都医師政治連盟 都医共済会支部
経理部	経理一般・給与規程作製	
広報部	広報一般・調査 会報編集会	都広報委員 三多摩広報連絡会
産業医部	産業医会	東京労働保険医捺協会（評議員） 東京労災審査会委員
保険部	社会保険指導整備会 国民保険指導整備会 保険事務講習会 苦情処理	社会保険審査員・国民保険審査員 国民保険委員会・社会保険委員会 地区医師会保険担当理事連絡会 地区国保指導整備委員連絡会 苦情処理委員会
学校医部	学校医会	地区医師会学校医担当理事連絡会 学校医委員会・都医学校医会評議員
公衆衛生部	各種予防接種 1才6ヶ月児健康診査	感染症定点観測調査 6・9ヶ月児健診 公衆衛生委員会 公衆衛生担当理事連絡会 保険所結核審査会 医師会・保険所連絡会
学術部	学術講演会	多摩医学会
福祉部	税務会・同好会・新年集会他 医療融資・医師年金 医師国保組合 医師賠償責任保険	共済会支部長 医師国保組合会議員 医師国保組合協力員

会長

副会長

副会長

役員職務分担表

○印　部長

会長
瀬戸岡　進

副会長
福島　大寿

副会長
米山　秀雄

総務部	○西村　邦康、江本　虎雄 今川　武、大塚　渉 中村　武、堀田　洋夫
経理部	○江本　虎雄、西村　邦康 木野村幸彦
広報部	○堀田　洋夫、菅井　義久 桂木　真
産業医部	○矢島　民夫、松原　貞一 中林　敬一
保険部	○大塚　渉、百瀬　政雄 波田野洋夫、木野村幸彦
学校医部	○今川　武、百瀬　政雄 東　吉男
公衆衛生部	○松原　貞一、矢島　民夫 吉野　住雄
学術部	○東　吉男、中林　敬一 菅井　義久、吉野　住雄
福祉部	○中村　武、波田野洋夫 桂木　真

地区会　　東部　（会長）西村　邦康、　（副会長）松原　貞一

各種委員会構成表

○印　委員長

医事紛争処理委員会	○西村　邦康、江本　虎雄、大塚　渉、川崎健一郎、秋山　静夫 堀内　素、大嶽　栄二、土田　守一、大河原　周	
地域医療対策委員会	地域医療委員会	○西村　邦康、島田　芳明、堀田　洋夫 佐々木　章、植田　稔、菅井　義久
	救急・休日診療委員会	○中村　武、矢島　民夫、松原　貞一 宮川　栄次、大嶽　栄二、近藤　友好 清水章三郎、秋山　静夫、高木　直 萩森　正紀、吉野　住雄　今川　武 菅井　義久、蓮沼　孝、石井　好朗
会報編集委員	堀田　洋夫、菅井　義久、桂木　真、道又　正達、鈴木　修 ○堤　次雄、高木　直	
社保整備委員	波田野洋夫、塩沢　三朗、村山　正昭、矢島　民夫、三枝　襄二 米谷　豊光、速水　完一、市原　靖、足立　卓三、高木　直 進藤　利雄、福田　佐、平林　信隆、秋山　静夫、斉藤　信幸 今川　武、栗原　琢磨、湯川　文朗	
国保整備委員	箱崎　淳、木野村幸彦、池田　聖、星野　稔、林　実、 大嶽　栄二、山田　登、百瀬　政雄、中林　敬一、甲斐原章一、 唐橋　善雄、山口　岱三、植田　稔、葉山　侃、清水章三郎 大塚　渉、川崎健一郎、鈴木　修	
学校医委員	川辺　隆道、大嶽　栄二、松田三樹雄、星野　稔、葉山　侃 鈴木　修、井上　冨美	
学術部委員	大河原　周、市原　靖、大島　大知、福島　清、佐々木　章 塩沢　三朗、大久保憲二、島田　芳明、林　実、鈴木　修 清水章三郎、栗原　琢磨	
税務会	中村　武、東　吉男、波田野洋夫、桂木　真、清水章三郎 植田　稔、高木　直、山口　岱三、佐々木　章	

南部　（会長）大塚　渉、（副会長）今川　武　　西部　（会長）百瀬　政雄

理事会報告

第一回理事会　4月11日
午后7時30分～9時30分
西多摩医師会館

一、報告事項　　特になし

二、議決事項

(1) 新理事職務分担について（次頁参照）
新組織図の説明
役員職務分担
問題処理経路説明
原案どおり可決

(2) 会長職務代行決定
福島副会長に

(3) 麻疹手当増額について

(4) 各部委員会委員人選について
保険部、総務部、広報部は4月16日までに。

(5) 理事会の運営の仕方について

(6) その他、吉野理事より会長抱負の発表を求める。

第二回理事会　4月23日
午后7時30分～9時30分
西多摩医師会館

一、報告事項

(1) 会長会議報告　　瀬戸岡会長

(2) 医政連報告

(3) 高水前会長表彰の件　　承認

(4) 各部報告

a 三多摩庶務連絡会　　中村理事
（いわゆる適配について）

b 四者協について　　松原理事
（予防注射健康被害調査委の件）

c 学術部　　東　理事

d 学校医部　　今川理事

e 各ブロック長決定

二、協議事項

(1) 各種委員会委員　　原案どおり

(2) 甲斐先生会費減免について
西多摩医師会会費規準

点　数		会　費
1000万点～		70万
900万	～1000万	50万
800万	～900万	40万
300万	～800万	25万
100万	～300万	23万
60万	～100万	21万
45万	～60万	18万
30万	～45万	15万
20万	～30万	11万
10万	～20万	9万
1万	～10万	5万
0	～1万	2万

(3) 近藤肇先生請願の件

〔発　言〕　　近藤　肇　（監事）

1. 都から支払われる委託健診事務手数料の一部を、理事者が永年知らぬまま事務職員が差引いて特別手当として慣例的に受取っていたことを、私は総会において指摘した。

○私が指摘したのは、全部を会計に入れさせて、その後に、手当として計上支給すべきであるとした点である。今回の決算の監査にあたり、54年度分の、事務職員の慣例的取分を否定して、既得権益を剝奪した形で始末をしたのは好ましくないとの意見を述べた。今年度予算において善処を望みたい。

2. 選挙に関する定款施行細則検討について

百瀬問題に鑑み定款施行細則をよく読んでみた結果気付いた点がある。定款施行細則第52条の立候補に関する規定では、立候補者が届出をする、という規定があるだけで、どこにも推薦に関する字句はない。にも拘らず、推薦書と立候補承諾書を組にして提出すれば、それが即ち立候補の届出となるということはおかしい。推薦候補者であっても立候補届出書だけが唯一の候補者たり得る資格である。推薦書添付は単なるつけ足りで、承諾書も無用である。

従来、推薦書と承諾書だけの立候補届は慣例として認められてきたから、違法的色彩のある慣例的合法ではあるが、規則と慣例とは齟齬している。また、届出書の書式は別に定める。と規定されているが、施行細則の巻末にもどこにも明記されていないのは不備である。

推薦規定がないのに推薦書と立候補承諾書の用紙が用意されているが、これもおかしい。
このように、つじつまの合わない点が見過されていることは、百瀬問題に限らず諸事ルーズになり勝ちな素地を形成することとなる。
その他、選挙規定には考え直すべき点がある故、次回選挙までに検討を求めたい。

（1980年5月8日）

(4) 次回理事協議会について

臨時理事会　5月14日
午后7時30分～9時30分

一、議事録（理事会）署名人　東　理事
今川理事
二、議　題　5月24日臨時総会の準備について
瀬戸岡会長
三、決算資料説明　江本理事
四、監査の結果について　山田監事
五、決算書の承認
六、前総会における議長諮問委員会についての経過報告
七、特別会計収支報告　江本理事
八、乳健医会総会について　米山副会長
九、医政連問題について
十、藤田さん退職について　西村理事
十一、新入会員　全員承認

事業部だより

保　険　部

西多摩医師会　　1月分

診療報酬明細書返戻状況

返戻理由	医科（乙表）件数
1. 記号番号不備不明および保険者名（符号）不一致のもの	75
2. 国保・国鉄等基金と契約してないもの	4
3. 生年および患者名不備あるいは記載ないもの	8
4. 傷病名不備あるいは記載ないもの	8
5. 診療開始日・日数および転記不明あるいは記載ないもの	5
6. 日雇健保で給付期間の満了したもの	0
7. 初診・負担金・再診および往診料について不備不明のもの	6
8. 投薬の場合薬名・用量・回数等が不備あるいは記載ないもの	13
9. 注射の場合薬名・用量・回数等が不備あるいは記載ないもの	1
10. 投薬・注射・X線で点数算出根拠の不明なもの	2
11. 処置および手術で内容の不備なもの	2
12. 検査で検査名・回数・内訳の不備なもの	6
13. 診療内容と摘要欄記入事項とが不一致のもの	0
14. 診療内容および方針の説明を要するもの	5
15. 上記事項に該当しない不備・不明のもの	3
計	138

2月分

返戻理由	医科（乙表）件数
1. 記号番号不備不明および保険者名（符号）不一致のもの	91
2. 国保・国鉄等基金と契約してないもの	2

3.	生年および患者名不備あるいは記載ないもの	15
4.	傷病名不備あるいは記載ないもの	10
5.	診療開始日・日数および転記不明あるいは記載ないもの	22
6.	日雇健保で給付期間の満了したもの	
7.	初診・負担金・再診および往診料について不備不明のもの	14
8.	投薬の場合薬名・用量・回数等が不備あるいは記載ないもの	9
9.	注射の場合薬名・用量・回数等が不備あるいは記載ないもの	5
10.	投薬・注射・X線で点数算出根拠の不明なもの	6
11.	処置および手術で内容の不備なもの	2
12.	検査で検査名・回数・内訳の不備なもの	6
13.	診療内容と摘要欄記入事項とが不一致のもの	
14.	診療内容および方針の説明を要するもの	1
15.	上記事項に該当しない不備・不明のもの	3
計		186

味　覚

手打うどん釜福

道　又　正　達

数年前、京都四条花見大路「権兵衛」で釜あげうどんを口にした時、あまりのうまさに感嘆した。

美しい朱塗りものの器（桶のような樽のような）閉じ蓋を開くとうどんの白いゆで汁、その中に半ば透き通ったうどんが入っている。だし汁におろしショウガときざみネギの薬味を加え、うどんをつけて食べる……　そんなうどんに対する出逢いが、私の味覚中枢に深く根をおろしていた折、二年程前「釜福」が店開きして以来、ときどき「うどん」とのツキアイがある。今度この記事のために店長加藤健三さんに聞いたところによると、西多摩から川越あたりには良質な小麦粉がとれるそうで、そのまじりけない小麦粉を使用しているとの事。又一俵 25 kgの小麦粉を大の男が二時間足踏みしてうどんをこしらえるので腰の強いものが出来上がり、昆布は北海道利尻のもの、ニボシは長崎のものといった具合に材料、品質、吟味してダシには大変神経を使っている様子。20 人位の会合もＯＫだそうで「医師会でもやって下さい」とは商買っ気充分、嫁もとらずに頑張っている。

毎日新聞で通の店といったタイトルで既に記事になったこともあるそうです。

元来大阪中心のもので彼は兵庫県加古川の釜福で数年の修業をしたそうです。

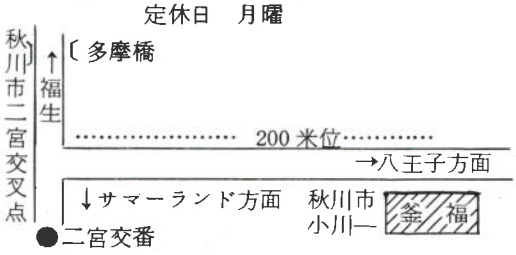
店先に 10 数台の駐車場、店内はカウンター席、テーブル席、畳敷の所もあり、店の人達もキビキビしていて仲々よい。

献立　うどん……17 種類
　　鍋焼うどん……　4 種類
　　冷たいうどん…（もり、ざる）
　　丼　物……　6 種類
　　おにぎり、ライス、釜福ぞうすい
　　飲　物……酒、ビール、ジュース類

以上で全商品大盛 70 円増とはどうゆう算盤のハジキダシか輪快である。うどんでわかりにくいもの、かしわ（鳥肉）かやく（おかめ）他人（牛肉と玉子）釜福とじ（エノキ、シイタケ、カマボコ、ハンテラなどの具を入れ玉子をおとしショウガをそえたもの）

うどん 320 円～580 円で私は専ら釜揚げうどん大盛 500 円である。

営業時間　午前 11 時～午後 9 時
電　　話　0425－59－6506
定休日　月曜



医師会日誌

医療機関数　142　病院　19
　　診療所　123

会議

4月2日　正副会長引継ぎ会議
　7日　役員会
　11日　理事会
　15日　福祉部会
　16日　総務会
4月17日　学術部会
　21日　広報部会
　23日　理事会
　24日　経理部会
　〃　東母総会
　28日　議長諮問委員会
　〃　会計監査会
5月　8日　理事協議会
　13日　学術部会
5月14日　臨時理事会
　17日　議長諮問委員会
　20日　休日救急診療委員会
　21日　理事会
　22日　議長諮問委員会
　24日　臨時総会

講演会・その他

4月　8日　整備会
　9日　法律相談
　15日　奇術部例会
　23日　交通安全運転講習会
5月　8日　整備会
　14日　法律相談
　20日　奇術部例会
　29日　学術講演会

役員出張

4月　4日　都医公衆衛生担当理事連絡会
　〃日　保健所連絡会
　9日　五日市保健所定例会
　〃　福生准看入学式
　18日　都医会長会
　〃　三多摩庶務連絡会
5月14日　五日市保健所定例会
　16日　三多摩会長会
　〃　五日市保健所落成式
　20日　青梅保健所訪問診療説明会
　22日　都医保険担当理事連絡会
　27日　生保一般指導立会
　28日　都医学校医講習会
　29日　保健所連絡会

6月行事予定

6月　7日　整備会
　11日　法律相談

会員通知

○昭和54年度定時総会開催について
○レントゲン料金の改訂
○被保険者証の継続使用について
○児童福祉施設入所児童等の診療報酬請求事務の一本化について
○昭和54年度定時総会報告
○春季安全運転講習会開催のお知らせ
○生活保護法による死亡診断書料の改訂について
○計量器検査の実施
○地方公務員の公務傷病取扱に関するレントゲン診断料の改正について
○都医学術講演会
○医療近代資金融資等利率改定について
○社保決定通知書の様式変更について
○地方公務員の公務傷病取扱に関する診療費協定料金表
○直接貸付の取扱いについて
○55年度東京都がん検診センター研修事業の実施について
○「予防接種の手引き」改訂版刊行に際して
○臨時総会開催の件
○総会次第の追加わび状
○学術講演会
○参院丸茂候補激励支部集会開催の件
○55年度前期諸会費納入について

加えて高圧（高気圧環境）医学の分野の研修を行い、帰国後、広島労働基準局長の実施する国家試験問題作製委員、この分野の産業医、あるいは各学校などの講師を命ぜられたことは、本業に対する奥行きを深めたものと考えて居ります。因に昭和40年夏、パール・ハーバーにおいて海上自衛隊員に空気栓塞症が発生し、即座に高圧酸素治療を行い救命させることができましたが、これは日本人に対する本治療法の第1例ではないかと自負致して居ります。

非常に長かった勤務医生活を打ち切り、20数年ぶりに帰京致し、諸先生のお陰をもって無事開業のはこびとなり、父祖と同じ道を歩むことになりましたが、隅田川左岸の生れで多分にオッチョコチョイな点がございますので、今後とも御鞭撻のほど、宜しくお願い申し上げる次第でございます。

同好会だより

第89回　西多摩医師会ゴルフ大会

昭和55年2月24日（日）狭山ゴルフクラブで、19名が参加して、今年最初の大会が盛大におこなわれた。波田野先生がパターの威力で、ネット68の好スコアで優勝した。BG賞はグロス80の吉野先生が獲得した。高水松夫先生と横田先生が初参加した。次回は4月20日立川国際。

氏名	西	南	グロス	ハンデ	ネット	ランク	新ハンデ	
波田野	45	43	88	20	68	優勝	16	
吉野	40	40	80	7	73	2	6	BG
宮川	40	44	84	10	74	3	9	
林	45	48	93	15	78	4		
高水武	48	48	96	17	79	5		
高水松	44	43	87	6	81	6		
鈴木	44	54	98	15	83	7		
堤	53	50	103	20	83	8		
大嶽	47	49	96	12	84	9		
加藤	54	58	112	27	85	10		
内山	47	48	95	10	85	11		
足立	47	54	101	14	87	12		
工藤	47	55	102	14	88	13		
鶴田	49	47	96	8	88	14		
江本	48	50	98	9	89	15		
横田	43	54	97	8	89	16		
杉本	52	55	107	16	91	17		
宇田	55	53	108	14	94	18	BB	
川崎	61	60	121	22	99	19		

第90回　西多摩医師会ゴルフ大会
同　ゴルフ部総会報告

昭和55年4月20日（日）立川国際奥多摩コースで15名が参加して、熱戦がくりひろげられた。林先生が優勝しBGと併せて、大トロフィーを獲得した。

大会終了後総会が行なわれ、54年度の決算が承認され、役員が選出され、次回よりのハンデが別表のように決定された。

新役員

部長　江本

幹事　波田野　今川　鶴田

顧問　高水

次回は6月22日立川国際の予定です。

氏名	アウト	イン	グロス	ハンデ	ネット	ランク	
林	47	39	86	15	71	優勝	BG
宇田	45	43	88	14	74	2	
渡辺	49	47	96	22	74	3	
星野	50	57	107	30	77	4	
杉本	45	48	93	16	77	5	
大嶽	44	45	89	12	77	6	
波田野	47	46	93	14	79	7	
江本	47	42	89	9	80	8	
鶴田	46	42	88	8	80	9	
堤	50	51	101	20	81	10	
内山	43	48	91	10	81	11	
高水	49	50	99	17	82	12	
葉山	49	49	98	16	82	13	
鈴木	48	50	98	15	83	14	BB
足立	50	54	04	14	90	15	

新ハンデ表（次回よりのハンデ）年令順

氏名	ハンデ	氏名	ハンデ	氏名	ハンデ	氏名	ハンデ
高水	19	矢島	36	今川	20	浜田	12
大河原	24	福田	36	内田	12	菅井	12
丸茂	27	東	26	大嶽	15	林	11
平林	16	加藤	27	富永	24	湯川	30
正木	36	藤田	12	松原	19	山本	36
宮地	12	羽場	12	宮川	9	鶴田	11
川崎	24	堤	20	木野村	36	高水	6
星野	26	江本	12	宇田	13	渡辺	20
葉山	19	内山	12	奥出	26	金子	36
鈴木	18	中村	13	工藤	14	横田	10
後藤	19	市原	16	吉野	7		
杉本	18	波田野	16	足立	20		

第16回　西医ゴルフ研修会

と　き　　55. 3. 16.（日）
ところ　　立川国際ＣＣ（草花コース）
天　気　　晴れ

記

今回もたった8人という寂しいコンペになってしまった。皆さんどうか都合の付く限り参加して盛大なコンペになるようにご協力下さい。

ところで、私はもう疲れましたので近いうちにどなたか元気な方に世話役を替っていたゞく積りですので、その際はよろしくお願い致します。

成績は別表のとうりで、波田野先生が2月に引き続き連続優勝されました。オメデトウ。

氏名	アウト	イン	グロス	ＨＰ	ネット	ランク	新HP	その他
波田野	51	42	93	20	73	1	16	バーディー(1)
大嶽	48	40	88	12	76	2	11	
内山	46	42	88	11	77	3	10	
中村	44	42	86	9	77	4		BG
高水	48	48	96	17	79	5		
足立	54	41	95	13	82	6		
川崎	55	47	102	18	84	BB		
杉本	51	47	98	14	84			バーディー(1)

談話室

新委員の記

鈴木　　修

文章を書く機会も少く、又その様な文学的な才能もなく、今日までものを書くことは縁遠いことであり、敬遠もして来た。時に勤め先での同好会的な会報・文集の様なものに原稿を依頼されて困ったものである。

今回も同様である、が然しこの様な折もないと医学・ゴルフ以外の本を読んだり、編集等という仕事にたづさわる機会も仲々ないだろうと思い、この委員を引受けた。

× × ×

朝の診療を開始して間もない時、K理事から電話。

「突然でお忙しい所を何ですが、会報編集委員をお願い出来ませんか」

「その方面はどうも不得手で、才能もありませんし、誰か他の人にお願いしますよ」

「実はY先生にお願いして大体承知して貰っていたんですが最近になって、未だ開業して日も浅いしもう1～2年勘弁して欲しいといわれてどうしてもといえず予定がくるってしまって……、公報部の集りで先生への依頼の声も出ましたし、何とかお願いしますよ。私も困っているんです」

こういわれるとこちらも困ってしまう。

「じゃ、こちらの近くの先生に一応あたって見ましょう。それから又返事します。」

それで2、3の先生方に電話したがいづれも心よい返事はなく、どうも押しが弱い。

「よろこんで御辞退致します」

又「全然、興味ありません、又そんな柄でもありませんし」

これでは重ねてとりつくしまもない。

この間前記の様に自身に言い聞かせてK理事に電話

「どの先生にも断られてしまいました。致し方ありませんね、やりますよ」

最後はなげやり口調

「そうですかどうも有難うございます。助かりました。」

結局押し切られてしまった。

あとがき

新緑が美しい季節となりました。

砂川の五日市街道沿いにある樹齢を重ねた立派な欅並木の新緑は、とりわけ美しく思われます。殊に雨に洗われた後の緑がいい。

やわらかい陽光に映えて、きらきらと輝きながら5月の風にそよいでいる欅並木の風景は実に素晴らしいものです。

花の4月は我が医師会役員の交替期でありました。

長年、会長として当医師会をリードされご尽力下さった高水先生の後任として、瀬戸岡先生が後をひきつがれました。会長をはじめ、新役員それぞれ抱負を持ちながら、この難しい時期を運営されるわけです。

会員の一人として、心からなる声援を送り、又、ご苦労さんと申し上げたい。

広報部に於いても、委員に若干の交替がありました。

4月の編集会が遅れ、更に連休に重なり止むなく前例のない5、6月の合併号を発行することになってしまいました。

諸先生に深くお詫び申し上げる次第です。

7月号からは今迄どうりに各月お送りいたします。

出航早々にして浅瀬に乗り上げて船底を少々こすった様です。先行航海は穏やかとは参らぬように思えてなりません。

多くの方からの随筆、句、歌、写真等をお寄せいただき度く思います。

広報部員を紹介いたします。

部長に、燃えてる男、働き盛りの堀田先生、(理事)　委員に、若い頃から未だに燃えさかり、意気軒昂の桂木先生（理事）　気鋭の新人、菅井先生（理事）　期待の若手新委員に高木、川辺の両先生。なぜだか、編集がよくて、出戻りの鈴木先生。　前期よりの委員として、おっとり、大人風、且つせん細、且つボリュームの植田先生。陽気、一見無邪気、行動派の道又先生。

皆様にオンブ、抱っこの好きな堤、であります。至りませんが、そこは何とか全員の力を結集して任期を乗り切る積りです。

つきましては、会員諸先生のご協力を賜わらんことを切にお願い申し上げます。

（記　堤）

表紙写真説明

「飛翔」多摩橋附近にて

多摩川と秋川（穐川・穐はアイヌ語で姉妹と云う意味で多摩川と兄弟姉妹の川と云う事でつけられた名前だそうです）の合流点にある多摩橋の撮影に行った。

橋の下流には五日市線の鉄橋があり、上流には永田橋、福生側には堂々とした市民体育館、市民プール、保健センター等がある。川面に鴨の大群が悠々と昼寝している。そっと下流に宇廻し少しづつ近附いてシャッターを切った。相手は全く自由無碍の鴨、仲々思う通りの構図に網ってくれない。数十枚を撮ったが、こんなものしか出来なかった。「飛翔」と名付けて、新執行部今後の飛躍を祝して選んでみました。

秋川市　近藤友好

昭和55年6月1日発行
発行所　西多摩医師会
東京都青梅市西分3－103
TEL（0428）23－2171(代)
会報編集委員　堤　次雄
堀田　洋夫　桂木　真　菅井　義久
鈴木　修　植田　稔　道又　正達
高木　直　川辺　隆道

印刷所　マスダ印刷　TEL（0428）22－3047

CENTRAL
CLINICAL
LABORATORY

中央臨床医学研究所

〒197　東京都秋川市雨間525
TEL　0425-59-4843

正確で信頼性の高い臨床検査

検査内容 ■日常検査　生化学検査／血清・血液学検査他
■特殊検査　内分泌学検査／ウイルス検査
免疫学検査／病理組織学検査他
■集団検査　小・中学生検査/成人病セット検査

Cardioprotective Trasacor®

…ストレスから心臓を保護します。

トラサコールは、β-受容体遮断作用のほかに、やや穏やかな膜安定化作用と本剤固有の内因性交感神経様作用(Intrinsic Sympathomimetic Activity：ISA)を有する不整脈・狭心症治療剤で、過剰な交感神経系の刺激から心臓を保護します。

新発売

不整脈・狭心症治療剤

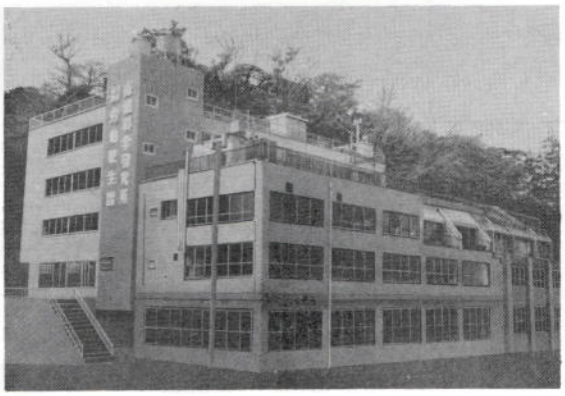
トラサコール®

錠20mg・40mg　CIBA

臨床検査センターの雄

保健科学研究所

横浜市保土ヶ谷区神戸町１０６
電話 045（333）1661（大代表）
八王子市子安町３－１７
電話 0426（26）2203・2204

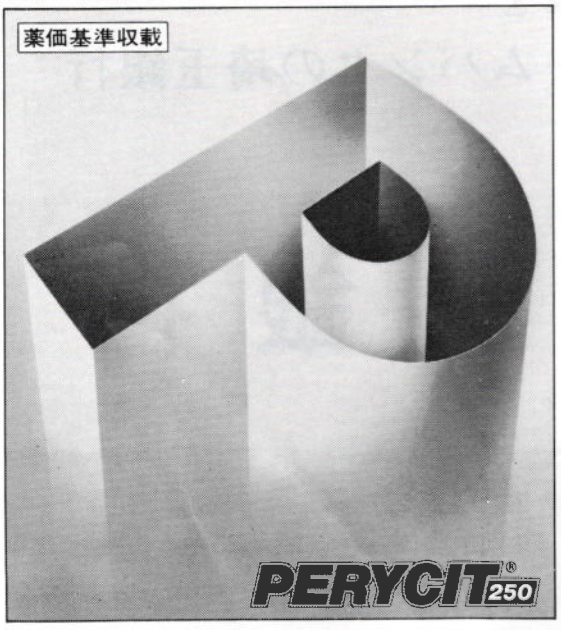


○総合臨床検査センターとして20余年間地域医療に貢献し、絶大な信頼を頂いています。
○完全オンラインシステム化を実現致しました。（データー通信システム）
○関係医療機関　約 3,500ヶ所
○広範囲な検査内容
●内分泌学検査●免疫学検査●ウイルス検査●生化学検査●血清学検査●血液学検査
●病理組織検査●細胞診検査●重金属検査●水質検査

１都11県の御得意先を毎日定期的に集配致します。御一報を御待ち致しています。

新開発品
ペリシット® カプセル
脂質代謝改善剤

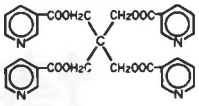
薬価基準収載



〔特　長〕
1．ニコチン酸のプロドラッグとして作用発現する
2．コレステロールばかりでなく、他の血清脂質も低下させる
3．動脈壁への脂質沈着を抑制する
4．HDL-コレステロールを増加させ、LDL-コレステロール、VLDL-トリグリセリドを減少させる
5．高脂質血症に伴う諸疾患の随伴症状を改善する

〔組　成〕
１カプセル中　ニセリトロール……250mg

ニセリトロールの構造式



●一般名　niceritrol
ニセリトロール
●化学名　pentaerythritol tetranicotinate
●分子式・分子量　$C_{29}H_{24}N_4O_8$: 556.54

〔適応症〕　高脂質血症の改善

〔用法・用量〕
ニセリトロールとして、通常、１日量750mgを毎食直後３回分割経口投与する。
なお、年令・症状により適宜増減する

●使用上の注意は、製品の添付文書をご参照ください。

株式会社 三和化学研究所
名古屋市東区東外堀町2丁目3番地
®：登録商標（スウェーデン・ボフォーズ社所有）

誠意と迅速を旨として

地元に誕生した公認臨床検査センター
先生方の検査室として御利用下さい。

東京都衛医、医第52号

西東京医学研究所

青梅市千ヶ瀬4-374-1
TEL 0428(23) 3537

くらしの知恵と情報を
ホームバンクの埼玉銀行

埼玉銀行

青梅支店（TEL.0428－22－1101）
東青梅支店（TEL.0428－22－2121）
奥多摩支店（TEL.04288－3－2515）
福生支店（TEL.0425－51－1021）
村山支店（TEL.0425－61－1211）
五日市支店（TEL.0425－95－1311）